

eYACHO for Business Ver.3

バージョン移行ガイド

第 2 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2017 年 3 月 23 日 ©2017 株式会社 MetaMoJi

はじめに

本書では、管理者向けに、eYACHO for Business から eYACHO for Business Ver.3 へ移行する手順を説明しています。

eYACHO for Business の概要や導入・運用の方法については、管理者ガイドをご覧ください。

表記

| 名称 | 表記 |
|---------------------------|-----------------------|
| eYACHO for Business Ver.3 | 新バージョンのクライアントアプリケーション |
| eYACHO for Business | 旧バージョンのクライアントアプリケーション |
| eYACHO 管理ツール | 管理ツール |

参照先の表記

関連する機能や詳細について説明している項目を「→」に続けて紹介しています。

[表記例]

- 本書内の項目の紹介
→ 2.2 新バージョンへの切り替え - 注意

目次

| | | |
|-----|--------------------------------------|---|
| 1 | 概要 | 4 |
| 1.1 | データの移行 | 4 |
| 1.2 | クライアントアプリケーションのバージョン | 5 |
| 2 | バージョンの切り替えとデータの移行 | 6 |
| 2.1 | バージョン切り替え前の準備 - 旧バージョンからのログアウト | 6 |
| 2.2 | 新バージョンへの切り替え | 7 |
| 2.3 | クライアントアプリケーションの導入・データの移行 | 8 |
| 2.4 | 旧バージョンのクライアントアプリケーションの削除 | 9 |

1 概要

新バージョンのクライアントアプリケーションは、旧バージョンのクライアントアプリケーションとは別のアプリケーションです。このため、自動でアップデートされません。

新バージョンに移行するには、本書に記載の手順でクライアントアプリケーションを導入したり、データを移行したりする必要があります。

1.1 データの移行

データの移行は、MetaMojji クラウドを介して行います。

移行可能なデータ

MetaMojji クラウドに保管されている次のデータは、クライアントアプリケーションで同期をとることにより、移行できます。

- 個人ドライブ・共有ドライブ
 - 各ドライブのノート・タグ・フォルダ
- ※ ゴミ箱のノートも移行されます。
- クライアントアプリケーションの設定
 - mazec の学習・登録データや設定
- ※ 旧バージョンでログアウトしておく必要があります。

移行のタイミング

新バージョンのクライアントアプリケーションで最初にログインしたときに移行が行われます。

※ ユーザーが複数のデバイスを使用している場合も、最初のログイン時に移行が行われます。

1.2 クライアントアプリケーションのバージョン

基本的に1つの法人ID内では、すべて同じバージョンのクライアントアプリケーションを使用します。新バージョンのクライアントアプリケーションの使用を開始するには、管理者が管理ツールでバージョンの移行を行う必要があります。

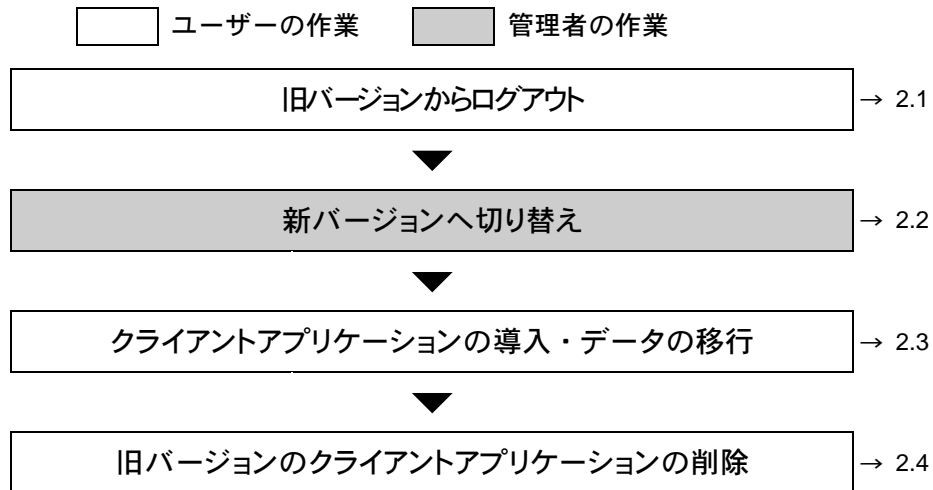
管理者の移行後、新バージョンのクライアントアプリケーションの導入については、移行したい人から導入することは可能です。

ただし、例えば新バージョンのクライアントアプリケーションを導入した人が、チームドライブのノートを開いた後では、旧バージョンのクライアントアプリケーションでは開くことはできません。

旧バージョンのクライアントアプリケーションで同期をとっても、移行後のデータにアクセスすることはできません。

2 バージョンの切り替えとデータの移行

すべてのユーザーが準備作業を完了してから、バージョンの移行を行います。



2.1 バージョン切り替え前の準備 - 旧バージョンからのログアウト

作業者：ユーザー

旧バージョンのクライアントアプリケーションからログアウトします。

1. ノート一覧画面右上の  > 「ログアウト」をタップします。
eYACHO for Business からログアウトします。

2.2 新バージョンへの切り替え

作業者：管理者

旧バージョンアプリケーションからのログアウトが完了したら、管理ツールで新バージョンへの切り替えを行います。

※ サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。手順 5.のあと、通常、数秒から 1 分程度で終わります。

注意： 切り替え後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します

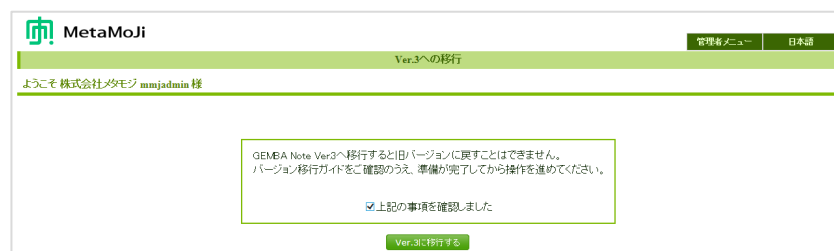
ただし、移行していないデータが残っている場合は、旧バージョンのクライアントアプリケーションを使用できます。

1. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

クラウド版

`https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupEYACHO3.html`

2. ログイン画面が表示されたときは、管理ツールへのログインと同じ要領でログインします。
3. 画面に表示される内容を確認し、[上記の事項を確認しました]をオンにします。



4. [Ver.3 に移行する]を選択します。
5. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2.3 クライアントアプリケーションの導入・データの移行

作業者：ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。

導入後は、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインし、旧バージョンのデータを新バージョンへ移行してダウンロードします。

※ 旧バージョンのクライアントアプリケーションでのログアウトが完了してから、手順 2. を行います。

→ 2.1 バージョン切り替え前の準備 ←


1. 新バージョンのクライアントアプリケーションを App Store からダウンロードし、インストールします。
2. インストールした新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。
旧バージョンのクライアントアプリケーションと同じ法人 ID・ユーザーID・パスワードでログインします。
3. データを移行します。

ログインや暗証番号の設定が終わると、データの移行が自動で始まります。

移行されたデータは、同期により、自動でダウンロードされます。

データのダウンロードが完了すると、旧バージョンのクライアントアプリケーションでアップロードしたデータが、新バージョンで使用できるようになります。

以上で、旧バージョンのクライアントアプリケーションからのデータの移行は完了です。

注意： データの移行が正しく行われなときは、一度ログアウトしてログインしなおします
ノート一覧画面右上の  > 「ログアウト」をタップしてログアウトし、クライアントアプリケーションにログインしなおします。

2.4 旧バージョンのクライアントアプリケーションの削除

作業者：ユーザー

データの移行が完了したら、旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除します。

注意： 旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除すると、MetaMoJi クラウドにアップロードされていないデータが削除されます。

クライアントアプリケーションを削除する前に、データの移行が完了したことを確認してください。

eYACHO for BusinessVer.3 でアップロードしたノートは、旧バージョンで開くことはできません。

iOS の場合

1. eYACHO for Business アイコンを長押しします。
2. アイコンが波打ち始めたら eYACHO for Business の x ボタンをタップして削除します。
3. 削除が完了したら、ホームボタンを押します。